



LIFE LONG SPORTS

大阪府生活文化部 生涯スポーツ振興課 平成13年10月発行

次世代の コミュニティの活性化を 担う地域スポーツの提言

三菱総合研究所 次世代ライフシステム推進部部長 小宮 清

最近、行政でも企業でもないNPO(非営利組織)活動に対する関心が高まってきています。阪神・淡路大震災でのボランティア組織による救援活動は広く知られるところですが、NPOの活躍の場は緊急時だけではなく、地域コミュニティ全般に広がってきています。特に地域のスポーツ振興団体については1998年のNPO法の成立により法人資格を取得できるようになり、地域活性化事業の重点メニューの一つとして今後の発展が期待されます。

スポーツ振興を進めていくためには、ソフト(組織、運営)とハード(施設、設備)両面の整備が必要です。上記のNPOの進展によりソフト面の課題はクリアできたとして、残る課題はハード面、即ちNPOの活動拠点となるスポーツ施設の確保です。地価の高いわが国では、NPO自らが用地を取得し、スポーツ施設を保有することは不可能に近く、一方、行政サイドに支援を仰いでも、厳しい財政状況の中、新たな施設整備は見送られる方向にあります。

これらの解決策として、学校施設の活用が今後考えられます。具体的には少子化によりゆとりが生じる学校の校舎、体育館、プール、グラウンドをスポーツNPOの活動拠点として有効利用していく事です。昨今流行のPFI(Private Finance Initiative)方式などを導入しながら行政側が施設の再整備(改修)を行い、運営自体はNPOが行う。地域住民は応分の会費や利用料を支払い、そこでスポーツを思う存分満喫するだけではなく、自らもボランティアとして積極的に活動に参画し地域に貢献する喜びや満足感を得ることができます。

このように自分に適したスポーツ・ライフを自分でデザインしていく。そんな時代がもう目の前に来ています。

Contents

- 南コミュニティクラブ
- 府民スポーツ・レクリエーションフェスティバル
- 広がりを見せるスポーツNPO
- オリンピック&ワールドカップ
- 地域生涯スポーツ推進協議会
- 障害者スポーツ
- 府立健康科学センター
- スポーツと血圧
- モッピークラブの活動
- なみはやスポーツ振興基金



Vol.8